



令和5年度大山小学校 学校だより

2023年6月23日

おおやまゆめ通信 第4号

(発行者) 校長 齋藤 和久
Tel:68-2929 Fax:48-3301

ホームページ <https://ohtama.fcs.ed.jp/> 大山小学校

題字:「ゆめ」渡辺光太郎先生

全校集会の意義

南達方部小学校交歓陸上競技大会に出場する6年生を激励するため、5/17(水)に壮行会を行いました。体育館に全校生が集まって集会を行うのは3年ぶりで、うまく進行できるか若干の不安がありました。そんな不安をかき消してくれたのが、5年生を中心とする応援団と激励を受けた6年生の姿でした。颯爽と駆け足で入場し、名前を呼ばれると体育館中に響く大きな声で返事をしていた6年生を、下級生たちは憧れのまなざしで見つめていました。さわやかに整列し、勇気を振り絞って力の限りエールを送った5年生に対して、下級生は尊敬の気持ちをもって、6年生は感謝の気持ちをもって見つめていました。応援団を指導した5年生担任の枯れた声を聞いて、このことも素敵な壮行会を作り上げた要因だとみんなが理解しました。



6/7(水)に行われた表彰とプール開きを兼ねた全校集会では、会を滞りなく進めようとする体育委員の表情から責任感が伝わってきました。表彰を受けた子どもたちの折り目正しい態度と全校生に胸を張って賞状を見せていた姿には、自信と達成感のようなものがありました。プール開きでは、学年代表の児童が水泳の授業に対する目標を発表しましたが、やってやるぞという強い決意が感じられました。やはりカメラの前で発表するのとは「熱」「思い」の伝わり方が全く違うことに驚きました。



全校集会は、「子ども達の自主性・やる気を育てる場」「一人一人のよさを認め伸ばす場」「子ども達の企画力を高める場」「全校生の気持ちを一つにする場」「学校の伝統をつなぐ場」「あんな先輩になりたい、後輩に慕われる先輩でありたいと自分を成長させようとする場」「先生方の思いに気づく場」なのかな?と感じています。子どもたちにとっても教員にとっても大切な場面であることは間違いありません。ホームページ等で紹介していきますので、子ども達の成長の様子をどうぞお楽しみに!

村連P球技大会に臨む！

6/25（日）に村連P球技大会が開催されます。5月末に結団式を行い、幼稚園チームと一緒にこれまで毎週末練習を行ってきました。時間ぎりぎりまで試合形式で特訓を重ねてきましたが、仲間を励ます声のほか相手チームを称賛する声も聞かれ、体育館は温かい雰囲気になっていました。子どもたちの面倒見てくださっていたお父さんたちにも感謝です。お母さんたちへのエールも響き渡っていました。

顔を合わせて、みんなで何か一つのことを熱中するっていいですね。子どもたちにもぜひ経験してほしいです。大山幼・小チームの健闘を祈ります。ソフトボールチームへの応援もよろしくお願いします！（活躍は次号で！）



「ちょっと前のいい話」 part1

南達陸上大会の時のことです。開会式で主催者や来賓の方があいさつされた時、大きな声でさわやかに返事をしていた本校の6年生がとても立派でした。普段からできていないと、あのような大きな場面では絶対にできません。さわやかなあいさつ、返事を本校の伝統にしていきたいと思うほどでした



「ちょっと前のいい話」 part3

村連Pバレーボール大会の練習をしていた時のことです。小さい子どもたちが何人か体育館に来ていて、ステージのところで遊びながら待っていました。ある男の子がお父さんに「こいつが…」と一緒に遊んでいた子のことを何か言おうとしたら、お父さんは話をさえぎって「こいつとは何だ！お友達のことをこいつなんて言うてはダメだ！」と厳しく注意していました。注意を受けた男の子は涙目になっていましたが、「お父さん、ごめんなさい。」ときちんと謝って反省していました。お父さんが男の子の手を優しく握ってあげると、男の子に笑顔が戻り、またみんなと楽しく遊び始めました。

すごい光景を見たと思いました。たとえ幼稚園の子どもであっても、いけない態度をとったらきちんと叱る、反省できたら許してばん回できるように背中を押してあげる、子育ての本質を見せられた感じがしました。自分の子育てはどうであったかと振り返ることしかできませんが、今、子育てに奮闘中の保護者の方々にお伝えしたいと思い、書かせていただきました。

「ちょっと前のいい話」 part2

朝、横断歩道のところで、見守りで立っていた時のことです。長い道のりを歩いて登校してきたある班の1年生の女の子が泣いていました。疲れたのかなかなか前に進みません。一緒に班の上級生たちは「大丈夫？」「がんばろう！」と優しく手をつないで励ましていました。

無条件の優しさってすばらしいと感動した場面でした。相手の気持ちに寄り添える低い視線をもつことが大切なんだと、子どもたちから教えられました。

5・6月のナイスショット



< 4年 十二神楽練習開始 > < 3年外国語授業 > < 2年さつまいも苗植え > < 1年7レットデビュー >